

事業所名

ふりーすたいる のびのび事業所

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7

年

2月

5日

法人（事業所）理念		我々ふりーすたいる のびのび事業所は運動カリキュラムを通し「のびのびと自分らしく」成長し、社会で輝ける人になれる環境作りを追求し続けます。										
支援方針		利用者一人ひとりの個性や興味関心を尊重しながら、本人支援の5領域に基づく支援を行い、子どもたちがのびのびと自分らしく成長できる場を提供していきます。										
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活スキルの獲得（食事・衣服の着脱・排泄・身なり等の生活に必要な基本的機能）に向けて、一人ひとりの特性に合わせた指導を行います。</li> <li>利用者一人ひとりの心身の状態を把握し、障害の特性及び発達の過程・特性に配慮しながら、健康面の観察を行います。</li> </ul>										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日のプログラムの中に運動・感覚の時間を位置づけて、利用者一人ひとりに応じた粗大運動（姿勢維持・バランス力・立つ・歩く・走るなど）を中心に微細運動を合わせながら、感覚統合を促していきます。</li> </ul>										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達段階に対応した数量・形の大きさ・重さ・色の違いなどの習得の具体的な働きかけを行います。</li> <li>必要な情報を収集して認知機能の発達を促すための活動や遊びを取り入れる。</li> <li>事前に環境調整などを行ない、子どもの特性に応じた支援を行ないます。</li> </ul>										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者一人一人が抱えるコミュニケーションの課題を明確にし、特性に合ったコミュニケーションスキルの向上を向上を行います。</li> <li>子どもの発達段階や特性に応じて子ども自らが自分から集団に参加し遊びや集団活動ができるように支援します。</li> </ul>										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な体験・経験を通して、社会性や対人関係を学んでいけるように環境の設定や関りを行います。</li> <li>買い物トレーニング等で地域資源を活用しながら、状況に応じた行動ができるよう社会性を向上させて行きます。</li> </ul>										
家族支援		ご家庭での課題を利用者の将来の課題として捉え、「今」必要な支援をご家族のご意向も踏まえながら支援を行います。				移行支援		利用者一人一人の障害の特性や性格、興味関心を担保し、ご家族の意向も伺いながら、将来を見据えた支援を行います。				
地域支援・地域連携		必要に応じて関係機関との連携または、活動可能な行政サービスの提供を行います。また併用事業所、学校との情報連携・支援方法等の相談支援を行います。				職員の質の向上		適時、職員間で情報共有を行い、利用者の課題を把握し、それに紐づいた勉強会を開催する事により、職員のスキルアップを行います。				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生日（職員からプレゼントをもらう）</li> <li>季節に合わせたイベント（クリスマス、ハロウィン等）</li> <li>外出（買い物トレーニング、水遊び、体育館での総合的な運動等）</li> <li>避難訓練（火災、地震、消防署見学で体験学習）</li> </ul>										